

スキンケア論

ナンバリング:N3-S2-J11

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 野里 同 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

高齢者などスキントラブルが発生するハイリスク患者への、皮膚状態のアセスメントとスキンケアの方法について理解する。具体的には、皮膚の解剖生理とスキンケアの意義、皮膚の症状・障害別アセスメントとケアの方法について学ぶ。また、スキンケアに関するエビデンスに基づく最新情報と技術について学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

高齢者の皮膚は脆弱であり、褥瘡、スキントア、医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)、血管外漏出性皮膚傷害など、スキントラブルが発生するリスクが高くなる。そのため、臨床で多く発生する主なスキントラブルについて学び、皮膚状態のアセスメントとスキンケアの方法について理解する。また、スキンケアに関するエビデンスに基づく最新情報と技術について学び、創造的に看護を実践できる基本的な能力を身に付けることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. スキンケアの基礎知識を理解し、説明することができる。
2. 褥瘡に対するアセスメントとスキンケアの方法を理解し、ケアについて提案できる。
3. スキントアに対するアセスメントとスキンケアの方法を理解し、ケアについて提案できる。
4. MDRPUに対するアセスメントとスキンケアの方法を理解し、ケアについて提案できる。
5. 血管外漏出性皮膚傷害に対するアセスメントとスキンケアの方法を理解し、ケアについて提案できる。

・授業日程

【講義】

会場：マルチメディア教室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/27 月 2限	<p>【授業内容】スキンケアの基礎知識について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造と機能について説明できる。 ・基本的なスキンケアの方法について説明できる。 <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修：120分】皮膚の構造や基本的なスキンケアについてテキストや文献などを調べる。</p> <p>【事後学修：120分】皮膚の構造や基本的なスキンケアについてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>
5/22 金 1限	<p>【授業内容】褥瘡に対するアセスメントとスキンケアの方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡に対するアセスメントとスキンケアの方法を理解し、説明できる。 <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修：120分】WebClassにある動画を視聴する。また、褥瘡に対するアセスメントやケア方法についてテキストや文献などを調べる。</p> <p>【事後学修：120分】褥瘡に対するアセスメントやケア方法についてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>

5/29 金 1限	<p>【授業内容】スキントリアに対するアセスメントとスキんケアの方法について ・スキントリアに対するアセスメントとスキんケアの方法を理解し、説明できる。</p> <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修：120分】WebClassにある動画を視聴する。また、スキントリアに対するアセスメントやケア方法についてテキストや文献などを調べる。</p> <p>【事後学修：120分】スキントリアに対するアセスメントやケア方法についてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>
6/2 火 1限	<p>【授業内容】MDRPUIに対するアセスメントとスキんケアの方法について ・MDRPUIに対するアセスメントとスキんケアの方法を理解し、説明できる。</p> <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修：120分】WebClassにある動画を視聴する。また、MDRPUIに対するアセスメントやケア方法についてテキストや文献などを調べる。</p> <p>【事後学修：120分】MDRPUIに対するアセスメントやケア方法についてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>
6/19 金 3限	<p>【授業内容】血管外漏出性皮膚傷害に対するアセスメントとスキんケアの方法について ・血管外漏出性皮膚傷害に対するアセスメントとスキんケアの方法を理解し、説明できる。</p> <p>【関連するSBO】5</p> <p>【事前学修：120分】WebClassにある動画を視聴する。また、血管外漏出性皮膚傷害に対するアセスメントやケア方法についてテキストや文献などを調べる。</p> <p>【事後学修：120分】血管外漏出性皮膚傷害に対するアセスメントやケア方法についてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>
6/22 月 3限	<p>【授業内容】臨床に多いスキントラブルに対するスキんケア① ・スキントラブルの事例に対して、スキんケアの方法について創造することができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修：120分】文献やテキスト等を調べ、スキントラブルの事例に対して有効なスキんケアの方法について調べる。</p> <p>【事後学修：180分】スキントラブルの事例に対して有効なスキんケアの方法についてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>
6/26 金 2限	<p>【授業内容】臨床に多いスキントラブルに対するスキんケア② ・スキントラブルの事例に対して、スキんケアの方法について創造することができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修：120分】文献やテキスト等を調べ、スキントラブルの事例に対して有効なスキんケアの方法について調べる。</p> <p>【事後学修：120分】スキントラブルの事例に対して有効なスキんケアの方法についてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>
6/30 火 4限	<p>【授業内容】臨床に多いスキントラブルに対するスキんケア③ ・スキントラブルの事例に対して、スキんケアの方法について創造することができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修：120分】文献やテキスト等を調べ、スキントラブルの事例に対して有効なスキんケアの方法について調べる。</p> <p>【事後学修：120分】スキントラブルの事例に対して有効なスキんケアの方法についてまとめる。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教</p>

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	創傷ケアワークブック スキン-テア/褥瘡/下肢潰瘍	紺家 千津子他	日本看護協会出版会	2020
参	褥瘡ガイドブック 第3版	日本褥瘡学会 編	照林社	2023
参	褥瘡予防・管理ガイドライン 第5版	日本褥瘡学会	照林社	2022
参	スキン-テア(皮膚裂傷)の予防と管理: ベストプラクティス	日本創傷オーストミー失禁管理学会 編	照林社	2015
参	医療関連機器圧迫創傷の予防と管理: ベストプラクティス	日本褥瘡学会 編	照林社	2016

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】

各回の授業における課題45%と筆記試験40%(記述式)およびグループワークの取り組み15%で総合的に評価する。なお、各授業の課題は授業日程にある通り、事前学修120分、事後学修120分を要する内容となる。

【形成的評価】

各回の授業において「レスポンスカード」の提出を求め、学習の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
3~5、7	1~5		40	45	15			100
合計		0	40	45	15	0	0	100

(備考)

・特記事項・その他

初回の授業の前に講義資料を配布する。受講者は事前にWebClassにある動画を視聴し、事前学修した上で各回の授業の受講すること(詳細については掲示板に掲示する)。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

課題、小テスト、授業に関するQ&Aは、Slidoやレスポンスカードを活用し、その中でも全体に伝える内容は次回の授業の際に説明する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

別表3(看護師課程): 専門分野 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC	2	講義資料およびインターネットクリッカーの提示
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影